

# 網走港みなと見学

7月5～7日、網走開  
対象に「網走港みなと見  
が、普段見ることができ  
港の役割を学びました。



ライフジャケットの着方を教えるのは、  
本部広報係の一家瑞恵さん



船内では、工務係長の森昌也さんが、  
楽しいクイズを交えて港の説明



海上からは天都山がくっきり



# 会

発建設部網走港湾事務所が、網走市内の小学生を「学会」を開催しました。3日間で合計97人の児童ない港の施設を、監督測量船「はまなす」から見学。



遠くに見えるのは帽子岩。天然の岩盤をくりぬいたケーソンドック（防波堤などの本体となるコンクリートの函を造る施設。北海道選奨土木遺産）がある



手前の大きなクレーンが付いた船は「起重機船」で、港の工事で大活躍。右後ろは、赤灯台。沖からは、港の入口の右に赤灯台、左に白灯台が見える。船は右側通行、港では出て行く船が優先の決まり



小麦サイロ：オホーツク管内で収穫された小麦を貯めておき、東京、大阪、九州方面へ移出。隣には、セメントサイロがあり、北斗市から移入したセメントを貯めておき、北見・網走地域のコンクリート工場へ運ぶ

北海道開発局網走開発建設部  
網走港湾事務所  
第1工務課長  
光成 真也 様



この見学会は、毎年、市内の小学生に港の役割を知ってもらうために実施しています。船とバスで港を巡るので、普段遠くから眺めるのとはかなり違って見えたのではないのでしょうか。当見学会をきっかけに港に関心を持ってもらえたら幸いです。

周囲を海に囲まれている北海道は、人の移動、物の運搬、漁業や観光のために、港がとても重要な役割を担っています。北海道と海外・道外との物流の約9割が港を利用しています。

網走港は、外国や国内の海上輸送網の拠点となっている重要港湾の一つで、管内の暮らしや産業の物流を支えています。

また、港に賑わいや潤いを創出しようという住民参加の取り組み「みなとオアシス網走」では、様々なイベントも行われています。皆さんも是非、網走港においでになり、港の施設や地域に親しみ、賑わいの創出にご参加ください。